

[タイトル] きたかん.net ゆうばりセッション第3章 テーマ『炭鉱から観光そして財政破綻・・・』	[日時] 平成 23 年 1 月 14 日 (金) 18:30~20:40
	[場所] キャリアバンクセミナールーム

[プログラム]

Part I プレゼンテーション-1
 市民活動コアメンバー、& 株式会社 ネクストゆうばり職員 松宮文恵氏
 プレゼンテーション2 ネクストゆうばり職員、&北の観光リーダー養成2期修了生 荒館康治氏
 Part II 質疑・ディスカッション
 夕張映画祭への情報発信支援「USTREAMを使用した映画祭情報発信プラン」説明&メンバー募集

[参加人数] 25 名 程度

[概要]

夕張の財政破綻を受けて縮小された文化政策に、地域で親しんだ映画や文化ホール（現：アディーレ会館）運営の火を消さぬよう、夕張市民が破綻の落胆から立ち上った。その草の根活動が地域外に知られて生じた支援やネットワークの広がり、プレゼン1と2にて発表した。その後、聴衆からQ-Aを行い意見や感想を出し議論した。セッション1-3章を経て、2011年2月24-28の5日間の映画祭期間に、きたかん.net有志による参加型イベント支援と効果の検証を行い、夕張ユニットによる企画は完了する。

[内容]

Part1: 破綻による「文化緊縮」→「文化の楽しみがなくなるということは、年寄りには家において死ぬということかね」（80代女性のつぶやき）→ホール再生の活動開始と、企業や個人から「身の丈支援」副次的効果「ボランティアで修理したあとも、関わった人が夕張に通ってくれる」映画祭を迎える市民「お帰りなさい」の声が自然発生的に生まれた。「お帰り」「ただいま」の関係があるのは夕張ファンタのみ。リピータとの関係を継続させつつ、新たな人を入れていくには。

Part2: 映画祭全般Q-A【Q】動員数増やしたいのか？/移動と宿の問題は？/参加者分析資料は？/外国人来訪は？/ホテル泊以外の選択肢は？/収益は？/映画祭前後の客の足取りは？/客の発地はどこが多い？

[写真]



撮影&文責：木野聡子